

各 位

会 社 名 日本高周波鋼業株式会社 代表者名 取締役社長 池田 辰雄

コード番号 5476

問 合 せ 先 常務取締役管理部長 田中 慶壽

(TEL. 03-5687-6025)

当社の親会社 株式会社神戸製鋼所 代表者 名 取締役社長 犬伏泰夫

コード番号 5406

# 平成20年3月期業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成19年4月27日の決算発表時に公表した業績予想ならびに配当 予想について、下記のとおり修正いたします。

記

## 「Ⅰ] 平成19年9月中間期業績予想の修正(平成19年4月1日~平成19年9月30日)

1. 連結業績 (単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益
前 回 発 表 予 想(A) (平成19年4月27日発表)	28,000	1,000	950	700
今 回 修 正 予 想(B)	27, 500	1,650	1,650	1, 350
增 減 額 (B-A)	△ 500	650	700	650
增 減 率(%)	△ 1.8	65.0	73. 7	92. 9
(ご参考) 前期(平成18年9月中間期)実績	22, 499	1,011	963	708

2. 個別業績 (単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益
前 回 発 表 予 想(A) (平成19年4月27日発表)	21,000	450	600	500
今 回 修 正 予 想(B)	20, 500	1, 450	1,600	1, 250
増 減 額 (B-A)	△ 500	1,000	1,000	750
增 減 率(%)	△ 2.4	222. 2	166. 7	150. 0
(ご参考) 前期(平成18年9月中間期)実績	16, 346	495	592	577

### 「Ⅱ 〕 平成 20 年 3 月期業績予想の修正 (平成 19 年 4 月 1 日~平成 20 年 3 月 31 日)

1. 連結業績 (単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想(A) (平成19年4月27日発表)	58,000	2, 300	2, 200	1, 300
今 回 修 正 予 想(B)	55, 000	2, 800	2, 700	2, 200
増 減 額(B-A)	△ 3,000	500	500	900
增 減 率(%)	△ 5.2	21.7	22.7	69. 2
(ご参考) 前期(平成 19 年 3 月期) 実績	46, 582	1, 689	1,601	1, 327

2. 個別業績 (単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想(A) (平成19年4月27日発表)	44,000	1, 300	1, 300	850
今 回 修 正 予 想(B)	41,000	2, 100	2, 200	1,900
增 減 額(B-A)	△ 3,000	800	900	1,050
增 減 率(%)	△ 6.8	61.5	69. 2	123. 5
(ご参考) 前期(平成 19 年 3 月期) 実績	34, 168	659	682	859

## 「Ⅲ】 業績予想修正の理由

当中間期におきましては、上期後半に販売価格が改善したものの自動車関連需要の在庫調整によるマイナス影響等により、売上高は期初予想の水準をやや下回る見込みです。営業利益、経常利益、中間純利益は、昨年来高騰を続けたニッケル価格が上期後半に下落に転じたことによる原料コストの圧縮や、その他コストの削減努力、販売価格の改善等が寄与し、ともに期初予想を上回る見込みです。

通期業績につきましても、ニッケル価格が期初予想より低位にあることによる販売価格への影響 やニッケル製品の買い控え等により、売上高は当初予想を下回るものの、営業利益、経常利益、当 期純利益は、中間期の業績が予想を大幅に上回るため、当初予想より増加する見込みであります。

### 「IV ] 平成 20 年 3 月期配当予想の修正(増配)

### 1. 修正の内容

	1株当たり配当金		
	中間配当金	期末配当金	年間配当金
前 回 発 表 予 想 (平成19年4月27日発表)	_	2円50銭	2円50銭
今 回 修 正 予 想	_	3円50銭	3円50銭
(ご参考) 前期(平成 19 年 3 月期) 実績	_	2円50銭	2円50銭

## 2. 修正の理由

平成20年3月期の1株当たり配当金につきましては、今後の原料価格の動向等を見極めた上で決定致しますが、中間期の業績が好調であることから、現時点では期末3円50銭への増配を予定しております。

※業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、 実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。